笑顔の絶えない宴

～ 平成21年度敬老式・金婚式 ～

園児たちによる踊りも楽しみに

10月初旬から中旬、市内5地区・5日間に分けて、平成21年度の敬老式・金婚式が行われました。75歳以上の敬老式対象者4,230名の内、約1,500名が出席しました。また結婚50年を祝う金婚式には35組が出席し、金婚祝状の贈呈を受けました。

式典では市長らによる祝辞の後、長寿祝金が代表者へ贈られました。続いて行われた祝宴では、婦人会や保育園児による演芸や踊りなどが披露されました。年に1度の集まりを楽しみにしている方も多く、笑顔の絶えない宴となりました。

創立30周年を迎えて

～勢至保育園創立30周年記念式典＆記念コンサート～

昭和55年に社会福祉法人金浦福祉会として発足し、創立30周年を迎えた勢至保育園で10月10日、記念式典と記念コンサートが行われました。

式典では、金浦福祉会の佐藤昭義理事長が「勢至保育園児が健やかに保育園生活を送れるように、また園児や地域の全乳幼児の健やかな成長のために職員は尽力してもらいたい」と式辞を述べました。

式典終了後には、記念コンサート「フルートとダンスのコンサート」も行われ、フルートの優しい音色と優雅なダンスの披露が30周年に花を添えていました。

式辞を述べる佐藤理事長

景色を楽しみながら学ぶ

～ 第2回国体記念ウオーキング ～

地震による隆起の証「唐戸石」～歴史を学びながらコース～

10月12日、第2回国体記念ウオーキングが道の駅象潟「ねむの丘」をスタート地点として行われました。市内外から参加した約120人は、九十九島を巡る9.8㎞、歴史を学びながらの5㎞コース、道の駅遊歩道散策の1.6㎞コースと、それぞれに分かれて爽やかな秋空の下、ウオーキングを楽しみました。

2年前の国体開催をきっかけに昨年から開催されているもので、参加者たちには「地域の歴史などを改めて知ることができた」「天気にも恵まれ、絶景を堪能。楽しく運動できた」と好評のようでした。

羽越本線沿線の連携を

～ 平成21年度羽越本線高速化シンポジウム ～

パネルディスカッションで発言する畠山氏（右奥）

10月16日、羽越本線高速化の実現に向けて、沿線地域住民等への理解や周知、気運の醸成を図ることを目的に、羽越本線高速化シンポジウムが、仁賀保勤労青少年ホームを会場に開催されました。

大会では、㈱ＪＴＢ東北の鈴木郁夫氏による基調講演やパネルディスカッションが行われ、パネリストとして参加した市観光協会事務局長の畠山勝利氏は、「酒田から秋田までの区間は、鉄道空白区域。高速化が実現されれば地域全体の活性化に繋がる」と発言し、高速化の必要性を訴えました。

紅葉と日本海の夕日を楽しむレース

～ 第8回鳥海山グルッと一周ＭＴＢサイクリング ～

紅葉の鳥海山をコースとする「第8回鳥海山グルッと一周ＭＴＢサイクリング」が、10月11日に行われ、全国からマウンテンバイクの愛好者たち、約170人が参加しました。早朝、5時前に道の駅「ねむの丘」をスタートした160㎞コースや山形県酒田市・玉簾の滝からの100㎞コース、由利本荘市・法体の滝からの60㎞コース、いずれも夕方6時までにゴールを目指しました。

鳥海山を一周して夕日の日本海をゴールとするスケールの大きさや、住民による声援などの手作り感がこの大会の魅力のようです。

夜明け前のスタート

平成21年度ボランティア功労者 厚生労働大臣表彰

おもちゃライブラリー　きしゃぽっぽ
「メルヘン」（代表　青木浩子さん）

おもちゃや紙芝居、体操などを通じ、子どもと触れ合ってきた長年の活動が認められたものです。

フェライト子ども科学館で、毎月第1・3木曜と第2土曜に活動しています。

2009秋田県マスターズ卓球選手権大会 兼全日本県予選会

▼男子ローセブンティ単
【1位】齋藤　正志さん（下荒屋）

2009秋田県卓球選手権大会 兼全日本卓球選手権大会県予選会

▼男子セブンティ単
【1位】齋藤正志さん（下荒屋）
※齋藤さんは両大会で全国大会へ出場

極真会館天下一武道会2009

▼組手3年中級
【2位】齋藤　海龍さん（上浜小）
▼組手5年中級
【2位】須藤　陽汰さん（象潟小）
▼型5年
【1位】須藤　陽汰さん（象潟小）